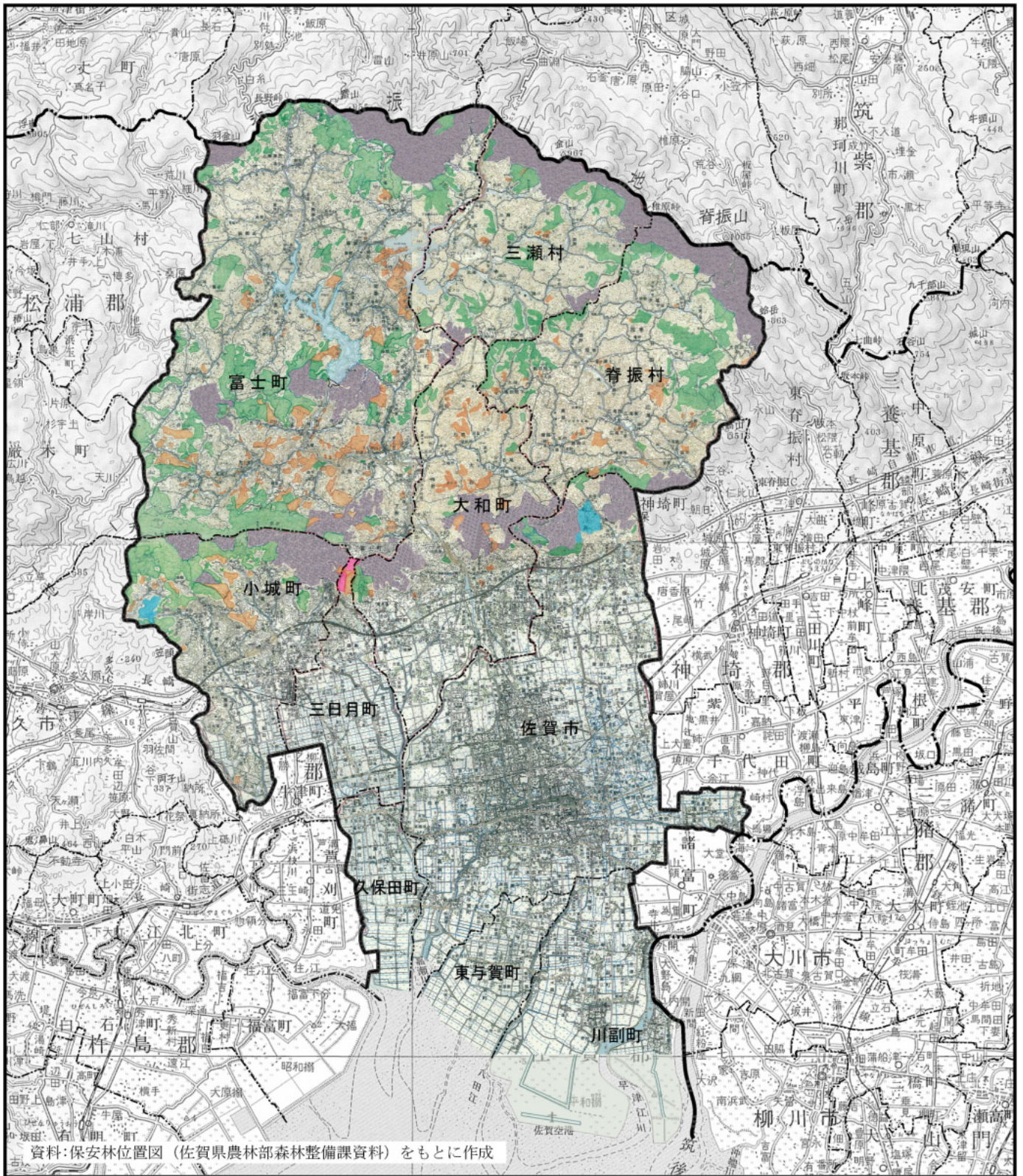


(20) その他

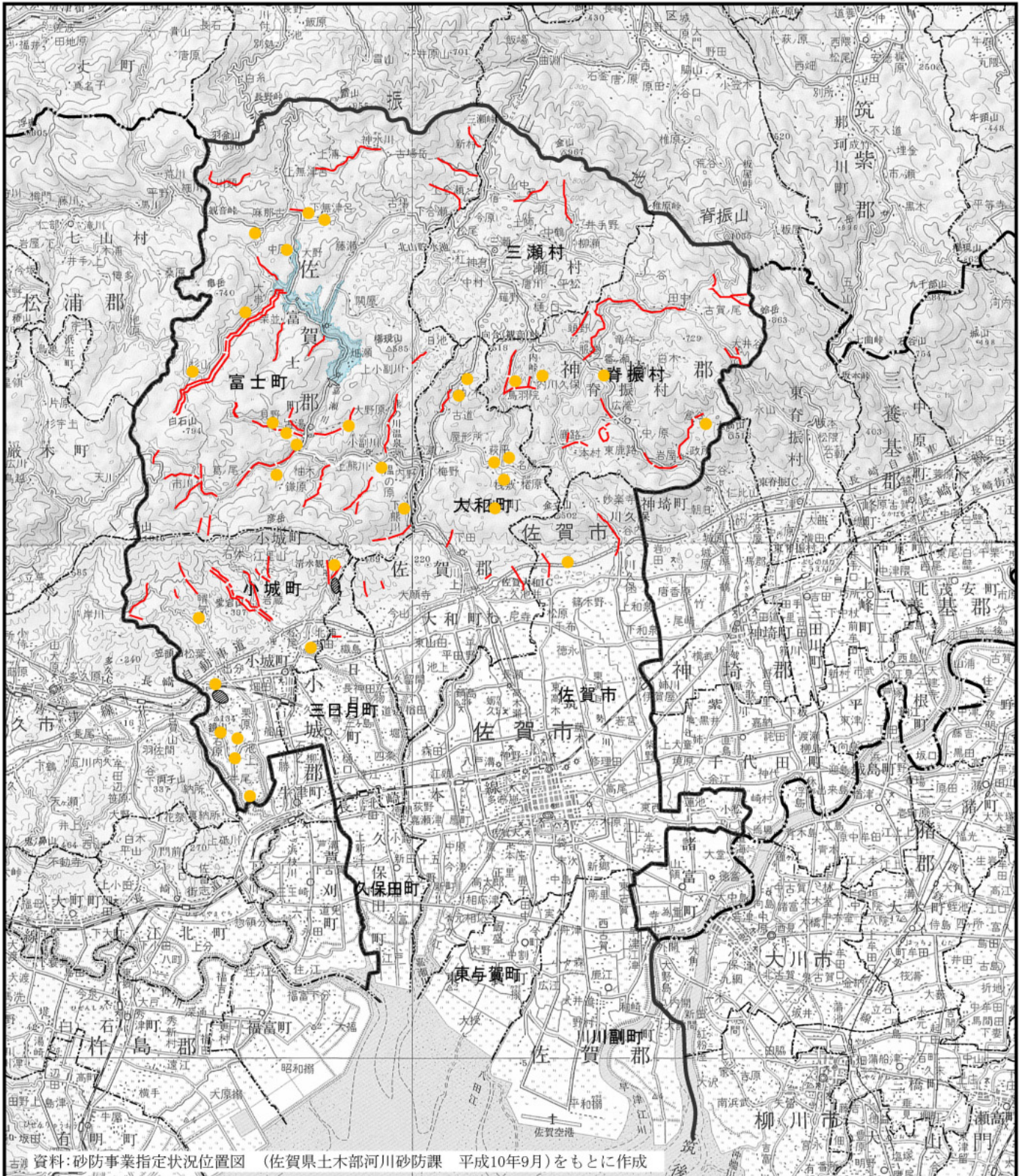
社会的状況の調査範囲における森林法、砂防法、鉱業法、温泉法、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律及び地すべり等防止法に基づく地域地区の指定状況を表 2.2.7-26 及び図 2.2.7-10～12 に示す。

表 2.2.7-26 保安林、砂防指定地、鉱区禁止地域、温泉地、急傾斜地崩壊危険区域及び地すべり防止区域の指定状況

	根拠法令	指定状況
保安林	森林法 (昭和26年法律第249号)	脊振山地が水源かん養保安林及び土砂崩壊・土壌流出防備保安林に指定されている他、脊振山地の山麓地域は保健保安林及び干害防備保安林に指定されている(図 2.2.7-10)。
砂防指定地	砂防法 (明治30年法律第29号)	脊振山地を中心に91カ所が指定されている(図2.2.7-11)。
鉱区禁止地域	鉱業法 (昭和25年法律第289号)	指定地域はない。
温泉地	温泉法 (昭和23年法律第125号)	富士町の古湯・熊の川温泉郷が国民保養温泉地に指定されている(図2.2.7-12)。
急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律 (昭和44年法律第57号)	脊振山地を中心に32カ所が指定されている(図2.2.7-11)。
地すべり防止区域	地すべり等防止法 (昭和33年法律第30号)	小城町において2カ所が指定されている(図 2.2.7-11)。



<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> : ダム堤体</li> <li> : 貯水予定区域</li> <li> : 社会的状況の調査範囲</li> <li> : 県界</li> <li> : 市町村界</li> </ul>		<p>保安林種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> : 水源かん養</li> <li> : 土砂崩壊・土砂流出防備</li> <li> : 干害防備</li> <li> : 保健</li> <li>その他</li> <li> : 国有林</li> </ul>	
		<p>1:200,000</p> <p>0 4 8 km</p>	
		<p>図2.2.7-10 保安林の指定状況</p>	



凡例

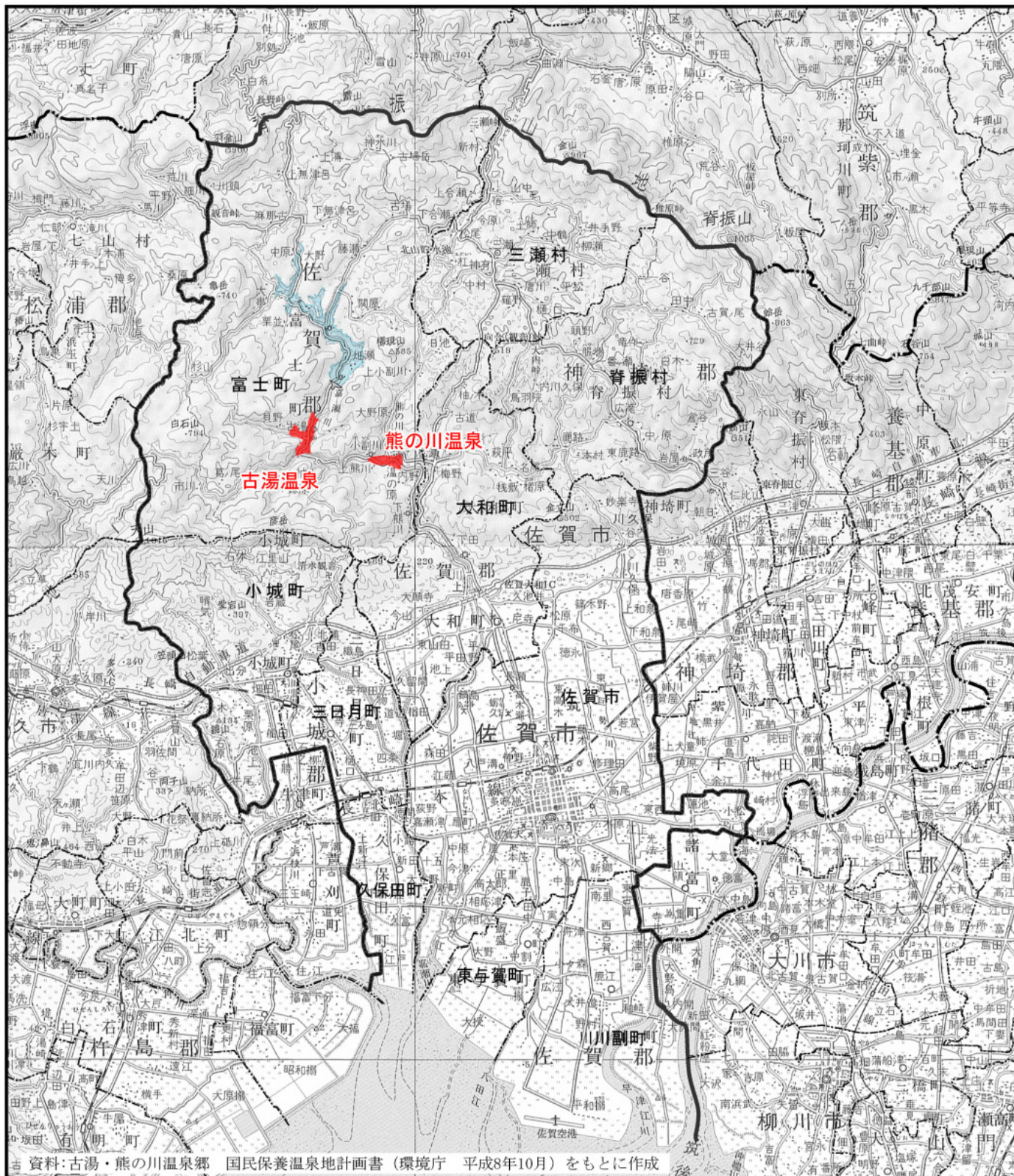
-  : ダム堤体
-  : 貯水予定区域
-  : 社会的状況の調査範囲
-  : 県界
-  : 市町村界
-  : 砂防指定地
-  : 急傾斜地崩壊危険区域
-  : 地すべり防止区域









1:200,000

0 4 8 km

図2.2.7-11  
砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域・地すべり防止区域の指定状況



凡例

-  : ダム堤体
-  : 貯水予定区域
-  : 社会的状況の調査範囲
-  : 県界
-  : 市町村界
-  : 指定区域



1:200,000

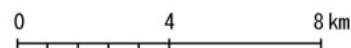


図2.2-7-12  
温泉地の指定状況

また、佐賀県環境の保全と創造に関する条例に基づく地下水採取規制地域及び揚水施設構造基準を表 2.2.7-27 に示す。

同規制は、佐賀平野及び白石平野における地盤沈下防止対策を目的として定められており、社会的状況の調査範囲においては、佐賀市、川副町、東与賀町、久保田町及び大和町の一部が規制地域に指定されている。

表 2.2.7-27 地下水採取規制地域並びに揚水施設及び構造基準

1.地下水採取規制地域			
佐賀市(県道小城北茂安線以南の地域に限る。)、川副町、東与賀町、久保田町、大和町(県道小城北茂安線以南の地域に限る。)			
2.揚水施設			
設置されている揚水機の吐出口の断面積(1の揚水機に吐出口が2以上ある場合はその断面積の合計)が6cm <sup>2</sup> を超える地下水を採取するための施設(1の工場又は事業所に2以上の揚水機が設置され、その揚水機の吐出口の断面積の合計が6cm <sup>2</sup> を超える場合は、それぞれの揚水機が設置されている地下水を採取するための施設)			
3.構造基準			
地下水採取規制地域の区分		構造基準	
		揚水機の吐出口断面積	ストレーナーの位置
イ	佐賀市のうち都市計画法(昭和43年法律第100号)第7条第1項に規定する市街化区域の全域及び同項に規定する市街化調整区域で九州旅客鉄道株式会社長崎本線以南の地域 川副町 東与賀町 久保田町	21cm <sup>2</sup> 以下	地表下300m以深
ロ	佐賀市(イに掲げる地域を除く。)のうち県道小城北茂安線以南の地域 大和町のうち県道小城北茂安線以南の地域		地表下250m以深
備考			
1.ストレーナーの位置に係る構造基準は、揚水機の吐出口の断面積が10cm <sup>2</sup> 以下の揚水施設については、適用しない。			
2.揚水機の吐出口の断面積は、1の揚水機に吐出口が2以上ある場合はその断面積の合計とし、1の工場又は事業場に2以上の揚水機がある場合はすべての揚水機の吐出口の断面積の合計とする。			